

第44回

# 只見町文化祭



～只見線全線復旧復興をめざして～

1



今年で44回目の開催となった只見町の文化祭は、11月2・3日の両日町民体育館と只見振興センターを会場として行いました。

今年「只見線全線復旧復興をめざして」というメインテーマを掲げ、メインコーナーには鉄道風景画家 松本忠さんの絵画の展示のほか、只見線の歴史紹介や鉄道模型作り、今年7月に東京で開催された六角精児さんの只見線トークイベントの映像などが流されました。多くの来場者がメインコーナーの展示物に足を止め、改めて只見線がある風景の美しさや、観光資源としての必要性を感じられているようでした。

メインコーナー以外では、藤ヅルでの小物入れ作りやクリスマスオーナメント作り、折り紙に会津もめんの糸紡ぎなど来場者が楽しめる体験コーナーが充実し、どのコーナーも多くの人で溢れていました。また、高校生の人材育成講座5期生が体験し学んだことの成果発表を行い、屋外での物産即売や文化祭恒例町内の若者による「ふるさと食堂」では様々な料理を食べる



10



11



9



8



7



6



5



- 1 メインコーナーに展示された国鉄時代の只見駅のジオラマ
- 2 鉄道模型が走るジオラマには多くの子ども達が目を奪われていました
- 3 只見線のラッピング列車を記念しての塗り絵を楽しむようす
- 4 会場には今年も小・中学生の書や絵画をはじめたくさんの作品が展示されました
- 5 開館式で行われた只見小学校鼓笛隊の演奏。秋の交通安全パレードは雨の為室内演奏でしたが、この日は天候に恵まれ来場者に鼓笛演奏を披露しました
- 6 町下球場では今年も元プロ野球選手らを講師に招き野球教室が行われました
- 7 ごはんコンテストの表彰式も行われ、アイデア料理を作ってくれた子ども達を表彰
- 8 体験コーナーのひとつプリザーブドフラワー教室のようす
- 9・10 人材育成ダイヤモンドプラン事業第5期生（高校生）の成果発表とヒロロコースター作り全員で記念撮影
- 11 日本の文化「短歌・俳句」の詠み方を教えてもらい取り組むようす

事ができ、来場者は開館から閉館まで1日文化祭を楽しむ事が出来ました。  
 今年の文化祭には延べ3,500名の方が訪れ、文化の秋を楽しみました。